

2010年6月8日

株主の皆様へ

株式会社クラレ

当社第129回定時株主総会の議案に関する補足事項

<第4号議案 ストックオプションとして新株予約権を発行する件について>

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はクラレグループをご支援頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、去る6月2日にご送付申し上げました当社第129回定時株主総会招集ご通知に記載の、「第4号議案 ストックオプションとして新株予約権を発行する件」について、補足説明をさせて頂きたく存じます。

当議案は、当社グループの取締役および従業員等が株主の皆様と同じ目線を共有し、業績向上に対する意欲や士気を高めることで、企業価値向上に資することを目的に、来る株主総会にお諮りするものです。

招集通知状68頁記載のとおり、今回ストックオプションとして新株予約権の割当てを受ける対象者は、「当社の取締役、執行役員、相談役、常勤顧問および従業員（嘱託社員を含む。）ならびに当社子会社の取締役、執行役員および従業員」であり、これらは、すべて当社グループの経営や事業活動に直接参画し、当社グループの業績向上に貢献できる者ばかりです。言うまでもなく、外部の第三者等は対象者に含まれておりません。なお、このうち、相談役および常勤顧問は以下の2名であり、いずれも、当社の経営における重要な役割を果たしております。

<相談役 松尾 博人>

1958年に当社に入社以来、輸出業務を皮切りに、繊維事業、化学品事業の長として広く経営に参画してきました。1993年に代表取締役社長、2000年に代表取締役会長を歴任、2006年に相談役。現在、経営諮問会議メンバーとして、経営方針や重要な経営課題、社長の進退、後継者候補の選定、社長の報酬等に関し、社長に対して助言を行うなど会社経営に関して重要な役割を担っております。

<常勤顧問 澤田 献三（2010年6月24日就任予定）>

1970年に当社入社。当社のコア事業であるポパール・エパール事業に携わり、また、海外経験も豊富です。2004年執行役員、2008年取締役常務執行役員を経て、2010年4月より海外事業所担当、同年6月24日常勤顧問就任予定。現在、クラレ本体と海外グループ各社との一体運営を図り、海外事業戦略を円滑かつ迅速に推進するための重要な役割を担っており、常勤顧問就任後も現職を継続致します。

当議案は、世界的経済危機により大きく損なわれた収益構造を回復させ、新たな成長に踏み出すために策定した中期アクションプラン『GS-Twins』（2009年度～2011年度）の達成に向けて、当社グループの取締役および従業員等の業績向上に対する意欲や士気を高め、企業価値向上に資することを目的に、来る株主総会にお諮りするものです。中期アクションプラン策定当時にリーマン・ショックが発生し、当初は数値目標を設定できなかったものの、2009年度決算において収益構造改善に目処が立ったことから、2011年度の営業利益目標を新たに500億円と設定し、本年4月30日に発表した平成22年3月期決算短信に明記いたしました。当社グループの業務に携わる者全員が株主の皆様と同じ目線で企業価値向上に取り組み、この目標達成にグループ一丸となって邁進することを期して、ストックオプションを付与したいと考えております。

株主の皆様には改めてご理解を賜り、当議案について十分ご検討頂きます様、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

以 上